

# G.入退院

パズルのような組み合わせでアタマを使う

- 入院搬送、退院時の搬送について把握する
- 入院搬送の連絡方法を確認する
- ADL維持のため早期退院を目指す
- 退院時の入居者の配置を検討する
- 回復者はレッドゾーンにもグリーンゾーンにも帰ってこることができる

# 入院搬送

- 市中の感染状況が落ち着いていれば入院してもらおうほうが感染対策はしやすい
- また、入院する入居者がいれば職員の介護負担の軽減になる
- 入院の優先順位を保健所と相談する

# 入院時に必要な個票への記載

札幌市ではこれらの情報を個票に記載して保健所に提出→各医療機関へ

- 【検査】陽性確定日・検査機関・検体採取日・検体採取医療機関・検査方法・検体
- 【発症】発症日・症状の有無
- 【所在】入院・入所機関（所在）・担当医師・医療機関連絡先
- 【基本情報】患者氏名(漢字・カナ)・性別・生年月日・年齢・電話番号・続柄・住所・職業(職種・会社名等)
- 【家族】家族等緊急連絡先：氏名・続柄・電話番号・家族構成（同居人・キーパーソン）
- 【体格】身長cm・体重kg・BMI
- 【病歴】既往歴・内服薬・現病歴
- 【現症】意識レベル（JCS）・不穏の有無・呼吸数・SpO2（%）・体温・脈拍数・血圧
- 【実施中の処置】
- 【その他特記事項】元々のADL・現在のADL
- 【搬送の同意】
- 【悪化時の心肺蘇生・延命措置をしないことへの同意】
- 【備考】

# 退院

- 入院中はADLが低下することが多い
- なるべく早期退院してもらうことが他で困っている介護クラスターのためにも有利にはたらく
- 療養終了者はグリーンゾーンにもレッドゾーンにも配置が可能であり、収束に向けてグリーンゾーンを広げていくキーパーソンとなる